

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東大阪大学短期大学部
設置者名	学校法人村上学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	実践食物学科	夜・通信			8	8	7	
	実践保育学科	夜・通信			9	9	7	
	介護福祉学科	夜・通信			9	9	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「実務経験のある教員による科目一覧」

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東大阪大学短期大学部
設置者名	学校法人村上学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.higashiosaka.ac.jp/information/> にある「役員名簿一覧」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事	R2.7.4 ~ R7.7.3	組織運営体制への チェック機能
非常勤	無職	R2.7.4 ~ R7.7.3	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東大阪大学短期大学部
設置者名	学校法人村上学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)はテーマ(目的・狙い)、概要、授業終了時における達成課題(到達目標)、授業計画(各回のテーマ、内容、授業方法など15回分)準備学習、単位認定の方法及び基準、受講生へのメッセージ、テキスト・参考文献から成り立っている。これらにつき具体的かつ分かりやすい記述がなされていることが求められている。</p> <p>シラバスへの入力例年3月中旬から下旬にかけて入力され、履修登録前の4月上旬に公開される。</p>	
授業計画書の公表方法	https:// star.higashiosaka.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修結果の評価はシラバスに記載されているとおりに行われる。方法は筆記試験、小テスト、レポートなど各科目担当者が、科目の性質に応じ最も適切な方法で、各学期末に行う。口頭発表も成績評価の一要因になっている科目もある。それと同時に授業への出席も極めて重視しており、欠席が目立つようになった学生に対しては、各教員が早期に指導を行っている。欠席、遅刻、早退を合わせ実質的に全授業時間の3分の2以上、授業への出席がない場合には欠格として定期試験等の受験資格を与えていない。これらは配布しているカレッジガイドに記載され、学生への周知を図っている。</p> <p>成績評価はS(90~100) A(80~89) B(70~79) C(60~69) F(0~59)とし、F評価を不合格としている。また一部の科目(「大学で学ぶI・II」「社会人になるにはI・II」など)は合格(P)か不合格(F)の評価形式をとっている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

指標の算出方法：成績評価を点数化（S評価:4、A評価:3、B評価:2、C評価:1 F評価:0）し、その合計点数を履修科目総数で割ることで平均値を算出する。なお、合否のみの科目（セミナーや卒業研究等）は対象外としている。

下記の計算式により1科目あたりの成績平均を算出している。この算出結果を資料として活用し、学園長賞、学長賞及び本学独自の奨学金制度などの選考に用います。また、成績平均値の低い学生へはアドバイザーやゼミ担当による今後の修学指導の資料としています。

$$(S評価数 \times 4.0) + (A評価数 \times 3.0) + (B評価数 \times 2.0) + (C評価数 \times 1.0)$$

履修科目総数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.higashiosaka.ac.jp/information/> にある
「成績評価について」

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○実践食物学科

1. すべてのことに感謝の気持ちを持ちながら、健康を維持するために食生活全般に興味・関心を持つことのできる人となる。
2. 常に向上心を持って努力し、多様な分野で広い視野を持って活躍できる人となる。
3. 自分を大切に健康維持に努めるとともに、他の人にも心を配って社会に寄与・貢献できる人となる。

上記に掲げた目標の達成を目指し、学科の理念に沿って編成された幅広い教育知識と、2年間で社会に役立つ「即戦力」を身に付けるための講義、実習授業を学生に履修させる。また学修の集大成である卒業研究発表会では担当教員の下に作成したポスター、スライド等にて可否を判断し、合格した学生に対して卒業を認定する。

○実践保育学科

- 1 人間が生きていくことの意味を伝え、自然に対する畏敬の念を抱き、それを守り、科学や文化、芸術に対する感受性を伸ばすことのできる人となる。
- 2 勉強や仕事をするには、即ち文化の継承だとの認識に立ち、物を大切に、健康の大切さを認識し、精神的な豊かさの重要性を伝えられる人となる。
- 3 世界には多様な価値観があることを教え、差別やいじめを許さない心を育て、自分の大切さ、ひいては他人を理解することの大切さ伝えられる人となる。

一般教養科目12単位以上、専門科目52単位以上の取得のみならず、幼稚園教職免許、保育士証等の取得を目指し、社会ですぐに活躍できる実践力の育成に重点を置いて、専門家としての知識、豊かな心の育成に取り組んでいる。

必修科目として、一般教養科目の「大学で学ぶⅠ・Ⅱ」「社会人になるにはⅠ・Ⅱ」、専門科目の「ボランティアに学ぶ」「ボランティア演習Ⅰ」を設定し、さらには「保育実習(保育所、施設)」や教職科目「幼稚園教育実習」などに取り組んでいる。これらを通して、卒業後すぐに社会で活躍し、責任を果たし、信頼が得られる人材の育成に取り組んでいる。

なお、卒業研究として、昨年度は「困難をかかえる子ども達」、本年度は「一人ひとりの子どもの未来を育もう」をテーマとして取り組み、一人ひとりの子どもを大切に教育研究・実践に取り組んでいる。

○介護福祉学科

1. 一般教養だけでなく、人間の尊厳・倫理観を兼ね備え介護人材としての教養を備えていること。
2. 社会の在り方から介護保険を中心とした各種制度を理解していること。
3. 介護の考え方、介護のコミュニケーション、介護計画の立案等、介護の基本を確実に修得していること。

学科の取組としては、資格取得に係る教育課程において、人間の尊厳を理解し、倫理的介護を実践できる人材となるよう、自立支援にも力を入れて教育を実践している。

また、特に留学生には、学修指導を学科の教員が行い、国際交流センターが、在籍管理、アルバイト等の生活管理を分担して行い、徹底した指導をしている。

専門知識の習得状況については、教科ごとに宿題を課す、小テストを実施する、レポートを課す等により、把握している。

技能科目に関しては、実習前に習得状況を確認しており、知識教育と並行して高度な専門教育を実施している。今年度はコロナ過で実習の実施が困難な中、可能な限り現場での経験を積めるよう、施設等と連携し、工夫をして臨んでいる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.higashiosaka.ac.jp/information/> にある
「ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)
大学・短期大学部」

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東大阪大学短期大学部
設置者名	学校法人村上学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「大学・短期大学部」の「貸借対照表」
収支計算書又は損益計算書	http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「大学・短期大学部」の「資金収支計算書」
財産目録	http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「法人全体」の「財産目録」
事業報告書	http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「大学・短期大学部」の「事業報告書(令和元年度)」
監事による監査報告(書)	http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「法人全体」の「監査報告書」

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.higashiosaka.ac.jp/pdf/hyouka_t_self-h25.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.higashiosaka.ac.jp/pdf/hyouka_t_jaca-h30.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 東大阪大学短期大学部実践食物学科
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.higashiosaka.ac.jp/faculty/health/guidance/) (概要) 【栄養士コース】栄養士は、カロリー計算や調理師と組んでの給食作り、子どもや高齢者に対する栄養指導など、人の暮らしのサポート役です。栄養に関する正しい知識はもちろん豊かな人間性も求められますが、クラスメイトや教職員との密接な関わりや企業や学校での実習での多くの人との触れ合いが、きっと人間性を磨いてくれるでしょう。さらに、苦手分野の個別指導や、本格的な大量調理設備での実践的な実習で、社会が求める栄養士としてのスキルを身に付けることができます。 【製菓衛生師コース】製菓衛生師は、お菓子作りのプロであり、衛生管理のプロであると厚生労働省が定める国家資格です。本校は製菓衛生師養成施設ですので、洋菓子・和菓子・製パン、カフェといった幅広い分野を学ぶことができます。基本技術を繰り返し学ぶことで土台を築き、プロとして必要な衛生観念と知識を徹底して身に付けます。食品衛生学や公衆衛生学などの専門的な知識を習得、製菓衛生師免許取得に必要な単位を 1 年半で終えるので、2 年生のうち全員が国家試験を受験することができ、卒業時には短期大学士の学位も取得することができます。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与に関する方針) 大学・短期大学部」) (概要) 1. すべてのことに感謝の気持ちを持ちながら、健康を維持するために食生活全般に興味・関心を持つことのできる人となる。 2. 常に向上心を持って努力し、多様な分野で広い視野を持って活躍できる人となる。 3. 自分を大切にし、健康維持に努めるとともに、他の人にも心を配って社会に寄与・貢献できる人となる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与に関する方針) 大学・短期大学部」) (概要) 1. 多様な基礎的知識と、基本的な学習能力の獲得のため全学に共通する一般教養科目を設置する。 2. 食の大切さを学び、健康で豊かな食生活が送れるように積極的に努力し、実践できる能力を養い、社会的に貢献できる人材を養成するため専門科目を設置する。 3. 食に関する科目を修めるとともに、教育者としての免許状を取得するため、教職科目を設置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与に関する方針) 大学・短期大学部」) (概要) 食物や栄養に関心を持ち、専門知識と技能を得て、将来の生活に役立てたいと考えている人、「食」をめぐる社会環境について見識を深め、食物栄養の分野で「人」の「健康」にかかわって社会で活躍したいという意識を持った人を望みます。

学部等名 東大阪大学短期大学部実践保育学科
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/faculty/education/guidance/)</p>
<p>(概要)</p> <p>少子化対策や働く女性の増加により、保育者の活躍の場は年々広がっています。低年齢児保育や延長保育のような新たな保育サービス施設が生まれ、幼稚園・保育所はもちろん、ベビーシッターやデパート・企業などの託児施設、さらには母親の子育て支援など、そのニーズは多種多様。</p> <p>実践保育学科では、そうした社会のさまざまな要請に応え、「現場ですぐに役立つ教育」をモットーに保育のプロを育成しています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針） 大学・短期大学部」)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間が生きていくことの意味を伝え、自然に対する畏敬の念を抱き、それを守り、科学や文化、芸術に対する感受性を伸ばすことのできる人となる。 2. 勉強や仕事をするには、即ち文化の継承だとの認識に立ち、物を大切に、健康の大切さを認識し、精神的な豊かさの重要性を伝えられる人となる。 3. 世界には多様な価値観があることを教え、差別やいじめを許さない心を育て、自分の大切さ、ひいては他人を理解することの大切さを伝えられる人となる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針） 大学・短期大学部」)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な基礎的知識と、基本的な学習能力の獲得のため全学に共通する一般教養科目を設置する。 2. 幼児期における教育に関わる者に求められる深い知識を習得し、人間的に豊かな人材を養成するため専門科目を設置する。 3. 幼児期における教育及び保育に関する科目を修めるとともに、教育者としての免許状及び保育士としての保育士証を取得するため、教職科目を設置する。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針） 大学・短期大学部」)</p>
<p>(概要)</p> <p>“子どもが好き”であることは必須条件ですが、それだけではなく、教育・保育の場は専門的な知識と技術、立派な人格を備えた「人物」が求められる社会であることを認識し、その目標達成のために積極的に学び、成長しようとする人を望みます。</p>

学部等名 東大阪大学短期大学部介護福祉学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/faculty/health/guidance/)</p>
<p>(概要) 超高齢者社会を迎えた日本において、日常生活の中で様々な「生活のしづらさや困難」を抱える方々がたくさんおられます。「介護福祉」とは、そのような方々の生活を支えることと同時に、私たち自身も「私らしく生活する」ことをめざす必要があります。「東大阪大学短期大学部介護福祉学科」では、質の高い生活支援者を育てるため、日本人と外国人がともに（友に・共に）学び、専門的知識と技術を身につけ、人間性豊かな人材を育成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）大学・短期大学部」）</p>
<p>(概要) 1. 一般教養だけでなく、人間の尊厳・倫理観を兼ね備え介護人材としての教養を備えていること。 2. 社会の在り方から介護保険を中心とした各種制度を理解していること。 3. 介護の考え方、介護のコミュニケーション、介護計画の立案等、介護の基本を確実に修得していること。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）大学・短期大学部」）</p>
<p>(概要) 1. 職業人としてふさわしい教養と思考力を養うために、一般教養科目を設置する。 2. 介護人材として相応しい教養、制度を修得する専門「人間と社会」領域科目を設置する。 3. 介護の基本・全体像、介護技術等を修得する専門「介護」領域科目を設置する。 4. 介護に必要な周辺知識を修得する専門「こころとからだのしくみ」領域の科目を設置する。 5. 医療的ケアに必要な知識・技術を修得する専門「医療的ケア」領域の科目を設置する。 6. 介護福祉士養成施設としての科目を構成する。 7. 学生負担及び学修順序を考慮した配当年次を構成する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）大学・短期大学部」）</p>
<p>(概要) 介護に関心を持ち、介護を必要とする人の立場にたって理解できる素養を身につけている人、介護に関する知識を深め、介護分野において社会的にも貢献しようという意欲のある人を望みます。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.higashiosaka.ac.jp/information/> にある「教育研究上の基本組織」

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
実践食物学科	—	4人	3人	1人	0人	4人	12人
実践保育学科	—	4人	4人	5人	0人	0人	13人
介護福祉学科	—	4人	1人	1人	2人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
2人				36人			38人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.higashiosaka.ac.jp/about/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
実践食物学科	70人	46人	66%	140人	77人	55%	0人	0人
実践保育学科	80人	52人	65%	160人	91人	57%	0人	0人
介護福祉学科	80人	59人	73%	160人	122人	76%	0人	0人
合計	230人	157人	68%	460人	290人	63%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
実践食物学科	39人 (100%)	2人 (5.1%)	31人 (79.5%)	6人 (15.4%)
実践保育学科	51人 (100%)	0人 (0%)	41人 (80.4%)	10人 (19.6%)
介護福祉学科	48人 (100%)	0人 (0%)	46人 (95.8%)	2人 (4.2%)
合計	138人 (100%)	2人 (1.5%)	118人 (85.5%)	18人 (13%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業計画（シラバス）はテーマ（目的・狙い）、概要、授業終了時における達成課題（到達目標）、授業計画（各回のテーマ、内容、授業方法など 15 回分）準備学習、単位認定の方法及び基準、受講生へのメッセージ、テキスト・参考文献から成り立っている。これらにつき具体的かつ分かりやすい記述がなされていることが求められている。</p> <p>シラバスへの入力は例年 3 月中旬から下旬にかけて入力され、履修登録前の 4 月上旬に公開される。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>学修結果の評価はシラバスに記載されているとおりに行われる。方法は筆記試験、小テスト、レポートなど各科目担当者が、科目の性質に応じ最も適切な方法で、各学期末に行う。口頭発表や授業への参加度も成績評価の一養子になっている科目もある。それと同時に授業への出席も極めて重視しており、欠席が目立つようになった学生に対しては、各教員が早期に指導を行っている。欠席、遅刻、早退を合わせ実質的に全授業時間の 3 分の 1 以上、授業への出席がない場合には欠格として定期試験等の受験資格を与えていない。これらは配布しているカレッジガイドに記載され、学生への周知を図っている。</p> <p>成績評価は S (90~100) A (80~89) B (70~79) C (60~69) F (0~59) とし、F 評価を不合格としている。また一部の科目（「大学で学ぶ I・II」「社会人になるには I・II」など）は合格 (P) か不合格 (F) の評価形式をとっている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	実践食物学科	64 単位	有・無	単位
	実践保育学科	64 単位	有・無	単位
	介護福祉学科	64 単位	有・無	単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : http://www.higashiosaka.ac.jp/information/ にある「施設・教育研究環境の概要」
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	実践食物 学科	750,000 円	280,000 円	316,600 円	実験実習料 (125,000) 施設設備費 (180,000) 教育後援会費 (8,000) 学生会費 (3,600)
	実践保育 学科	750,000 円	280,000 円	296,000 円	実験実習料 (105,000) 施設設備費 (180,000) 教育後援会費 (8,000) 学生会費 (3,600)
	介護福祉 学科	750,000 円	280,000 円	341,600 円	実験実習料 (150,000) 施設設備費 (180,000) 教育後援会費 (8,000) 学生会費 (3,600)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>2号館は、音楽棟として、大学生と短期大学部生がピアノの練習を目的として利用できる施設である。練習室は60室(アップライトピアノ)あり、全室防音・冷暖房完備となっている。平日の12時から17時まで無料で利用でき、音楽担当教員の研究室がある。</p> <p>本学図書館はキャンパスの4号館に位置し、教員の教育と研究活動及び学生の勉学を支援し、設置学部・学科に即して各種資料の収集と整理を行っている。図書種別では、学部学科設置上の性格から、教育、特に保育・初等教育関連のものを所蔵し、栄養、福祉関連の書物がそれに続いてきたが、2011年4月にアジアこども学科の開設を迎え、現在に至るまで人文社会関連文献・アジア歴史資料の収集にも力を入れている。</p> <p>すべて学生に対してメールアドレスが発行され、学内外からの送受信が可能であり、学生に対して発行されたメールアドレスについては、学生は卒業後も、引き続き利用できるサービスとして運用している。学生の学内持ち込みパソコンは、9号館、8号館、図書館及び学生寮では無線LANを利用することができる。また平成28(2016)年度から貸出し用ノートパソコン10台を購入し、学生に貸し出ししている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>専任職員、各学科の担当教員が進路に関する豊富な情報を提供して、一人ひとりの将来設計をしっかりサポートします。</p> <p>企業年鑑をはじめ就職先に関するさまざまな資料、過去の就職試験や面接等のデータを豊富に収集、蓄積整理しており、必要な情報がすぐに引き出せます。</p> <p>教員や職員を通じて広げてきたネットワークや卒業生を送り出してきた実績などから、学生たちの多様なニーズに応えられる就職先の開拓を進めています。</p> <p>在学時に取得した免許・資格や学生一人ひとりの特性を生かして自分らしく輝ける場所、自分の能力を最も発揮できる場所への就職をサポートしています。</p> <p>また、編入学を希望する学生についても、東大阪大学をはじめ他の指定校となっている4年制大学への編入をサポート。</p> <p>その他の大学、専門学校への編入・進学希望者についても入試の情報の提供などを行っています。</p>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

本学では保健センターを設置し、学生ならびに教職員の心身の健康管理・維持増進に努めています。保健センターでは、その課題・目的の達成に向けて、「保健室」と「学生相談室」を設け、「こころ」と「からだ」の両面から支援する体制をとっています。

保健室では、学内における学生および教職員の身体面の健康保持・増進に関する相談に応じています。また、学内で突然の傷病などが発生した場合、応急処置を講ずるとともに、適宜安静・休養できる設備を完備しています。さらに、症状に応じて関係する他 部署や外部の医療機関と連携しながら、協働支援にも努めています。

学生相談室では、カウンセラーが学校内、家族内の対人トラブルはもとより、自己の性格・友人関係、実習・進路に伴う就学に関する相談、さらに性の問題や心身障害等の 相談など様々な「悩み」に応じています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <http://www.higashiosaka.ac.jp/information/>